

電波時計 取扱説明書 (置時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

株式会社 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

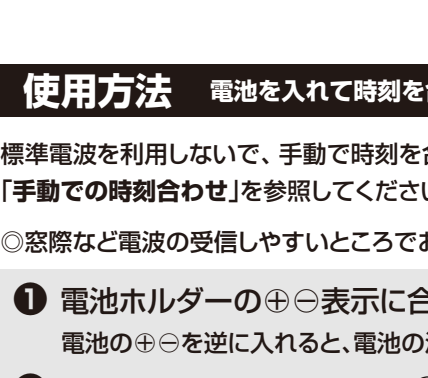
ご使用の際は、巻末の「使用上のご注意」を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個ご用意ください。

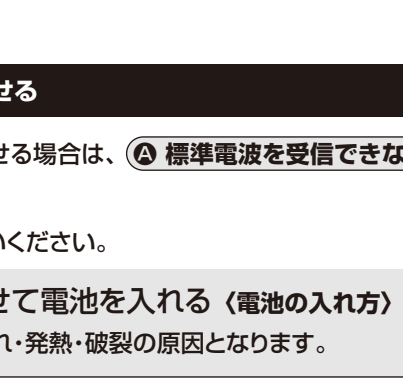
各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

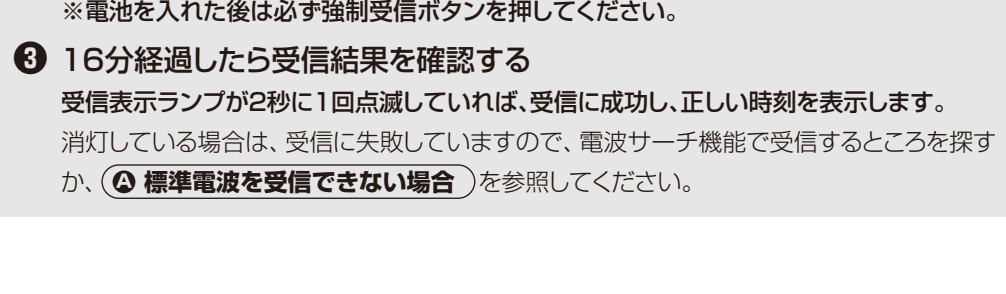
〈商品タイプA〉



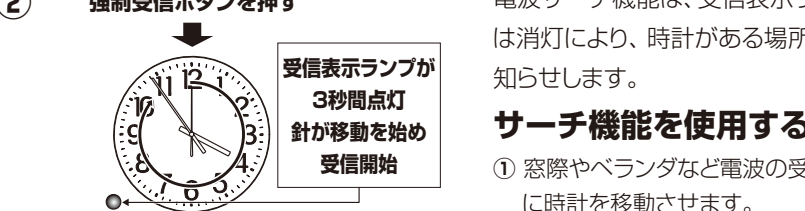
〈商品タイプB〉



〈電池の入れ方〉①



〈裏面操作部〉②



使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、④ 標準電波を受信できない場合の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる〈電池の入れ方〉参照

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。

② 強制受信ボタンを押す 〈標準電波・受信の流れとサーチ機能の使い方〉参照

受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。

※、針が移動を開始して、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。

また、電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

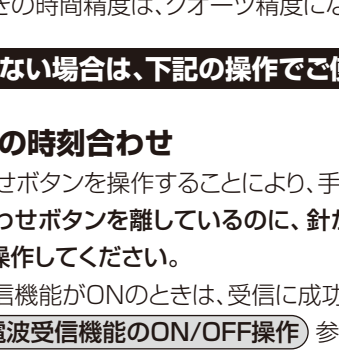
③ 16分経過したら受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。

消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探るか、④ 標準電波を受信できない場合を参照してください。

標準電波一受信の流れとサーチ機能の使い方

② 強制受信ボタンを押す



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時刻がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。

② 強制受信ボタンを押します。

受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。

③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。

④ 電波の状態を確認します。

点灯・電波良好→受信できる可能性大

消灯・受信できない→場所を移動する

○点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。

○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えるなど受信表示ランプの状態が変化します。

⑤ 受信結果を表示します。

受信成功・2秒に1回点滅

受信失敗・消灯

④ 標準電波を受信できない場合へ

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信成功後およそ25時間は受信表示ランプが点滅します。

④ 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎや取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面に電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせ使用する

屋外などで電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

■ 手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを操作しているのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

※④ 電波受信機能がON/OFF操作を参照。

時刻合わせボタンを押すと、時計針・分針・秒針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離れた場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。

秒針の動きについて

時刻合わせボタン押し続けたときは、その場で停止するか、12時位置に早送りで移動してから停止します。

秒は、時刻合わせボタンを離したとき「0秒」に設定され、秒針が動き出します。

時刻合わせボタンを離したときの秒針位置によっては、数秒間停止してから動き出します。

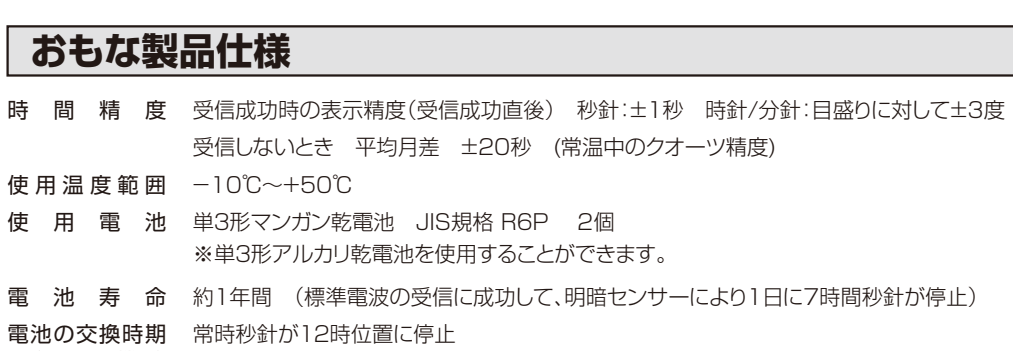
⑤ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押し、すぐ離す」ことです。



〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

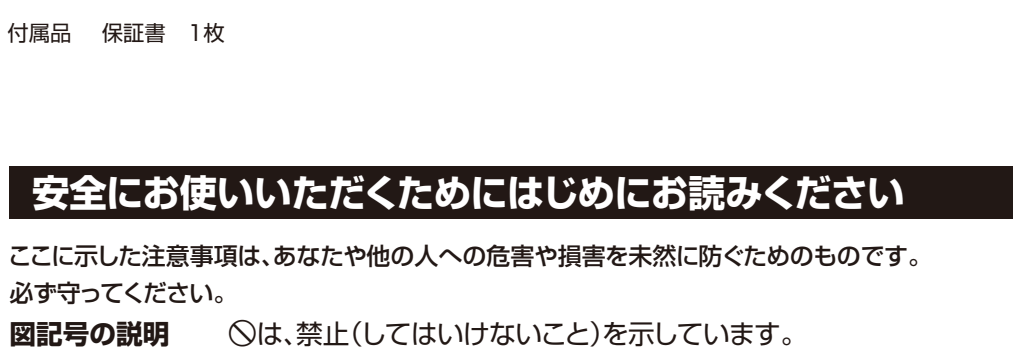
※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して電波の受信を停止します。

※時計と分針は、このような状態になってから1ヵ月程度動き続けます。

※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、秒針が停止します。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

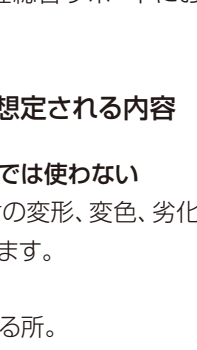
電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●電池が動いていても1年に1回定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

●電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。



明暗センサーのはたらき……………暗くなると止まる秒針

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置で停止し、受信表示ランプが消灯します。

昼間や夜間の照明明などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

静電気の影響について

静電気により正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

設置について

時計の転倒や落下による破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところでご使用ください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、かなどふきとってください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けした壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

時 間 精 度	受信成功時の表示精度 (受信成功直後) 秒針:±1秒 時計/分針:目盛りに対して±3度 受信しないとき 平均月差 ±20秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。
電池寿命	約1年間 (標準電波の受信に成功して、明暗センサーにより1日に7時間秒針が停止)
電池の交換時期	常時秒針が12時位置に停止
お知らせ機能	
電波時計機能	標準電波を受信して表示時刻を修正
受信局自動選択	福島局/九州局自動選択、受信表示ランプによる受信局表示
電波サーチ機能	受信表示ランプで電波の状態を表示
自動受信	最少1回/日、最多6回/日 受信状態により受信回数は変化します
受信ON/OFF	ボタン操作で切り替え可能
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗所での秒針停止および受信表示ランプ消灯
防滴防塵機能	なし

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

⚠ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

⚠ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

⚠ 電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

⚠ 下記のような場所では使わない

性能の低下や部材の变形、変色、劣化、故障の原因になります。

⚠ 強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器からの風が当たる所。

●温度が−10℃以下または+50℃以上の所。

●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油が使用される所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておく、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

●プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●時計が動いていても定期的に交換する。

●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

●幼児の手が届かない所に置く。

●種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には向きません。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

●買い置きした電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の景観にある「九州局：はか山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用には、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港や交通量の多い所など電波障害の起きる所

●金属製の雨戸やブラインドの近く

●ビルの中、ビルの谷間、地下

●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く

●朝夕の時間帯、雨天のとき

●家電製品やOA機器の近く

●スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート

https://rhythm.jp/support/

商販会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。

例. 4MY○○○、4MYA○○○、8MY○○○、8MYA○○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間:9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなんら責任を負いかねますのでご了承ください。